

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 8 年 6 月定例会	
議案番号 議案名	議案第 3 号 令和 8 年度松戸市一般会計補正予算(第 2 回)
議員名・会派名等	日本共産党 ミール計恵
賛否態度	賛成
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	日本共産党は、議会で討論もせずに HP に自らの意見を掲載するやり方については議会軽視であり、反対の立場です。したがって、日本共産党は、議会で討論した内容を掲載します。 【討論】 日本共産党のミール計恵です。先ほど庁舎整備に関する特別委員会委員長より報告のありました、議案第3号 令和8年度松戸市一般会計補正予算(第2回)について、会派を代表して賛成の立場から討論します。本補正予算は主に市役所の仮庁舎移転に関連する予算と、現地建て替えのための新庁舎整備基本計画の策定に関する予算です。 まず仮庁舎については、市民にも大きな影響があるため、引っ越しの時期、場所などなるべく早めに周知を徹底いただくことが必要であり、広報まつど、SNS、市ホームページなどで発信するとのこととで了解しました。仮庁舎にかかる関連費用についてもおおむね妥当と判断しました。 次に新庁舎整備基本計画(現地建て替え)にかかる補正予算についてです。これは市が今年の3月11日に市役所の建て替え場所を当初計画の新拠点ゾーンへの移転建て替えから現地建て替えに方針変更したことに伴う計画の策定です。 主な業務内容としては、現地に 37000 m²の新庁舎を全面建て替える案と合わせて、費用縮減の観点から、現有施設や民間施設の活用、新館長寿命化(耐震改修)についても検証するとのこととで、評価します。市が今年の2月に行った市民アンケートでも市民が最も重視するとしたのは、「事業費」でした。できるだけ費用縮減することを市民も求めています。その意味で、これらの検討は妥当であり、その中で最善の方法を選択していくことになると思います。 また日本共産党松戸市議団が今年実施した市民アンケートでは、市役所の建替えについて、移転がわずか 12.5%、一方で現地は全面、一部、耐震化などをあわせて 78.3%です。また現地の内訳は、現地全面建て替えが 29.0%、現地一部建て替えが 21.1%、そして現新

	館耐震化が 28.2%と、耐震化が全面建て替えとほぼ同率でトップです。したがってこれらを検討する本基本計画は市民の願いにもかなっていると言えると思います。 次に手法の選定の過程と合意形成については審査でも複数の委員が質疑をし、市は「様々な局面で市議会に丁寧な説明を行い、認識を共有し同じ方向を向いていく。」と繰り返し答弁されました。ようやくこの委員会もあるべき姿になってきたと感じました。 市からの提案を待っている委員会ではなく、説明を求め提案していく姿勢も必要であることを自戒もこめて申し上げたいと思います。 また、市民、職員の声という点でも、庁内ワーキンググループや市民利用スペースに関しての市民ワークショップも開催される点について評価します。 以前本市で行った30年後の松戸駅周辺の在り方を考える市民ワークショップ、「MATUODUING 2050」では傍聴が許可されなかったため、ぜひ傍聴も認め、オープンな形で開かれ、情報が共有されることを求めます。 最後に市民参加という点では、市民利用スペースだけでなく、庁舎全体の計画に際しても市民参加を検討いただくことを要望します。現に白井市では、公募市民も参加する庁舎建設検討委員会がなんと34回も開催され庁舎建設の中心となったそうです。そのような例も参考にしながら、市民の願いによりそい、市民とともによりよい市役所を作っていくことを要望し本議案の賛成の討論とします。
--	---